

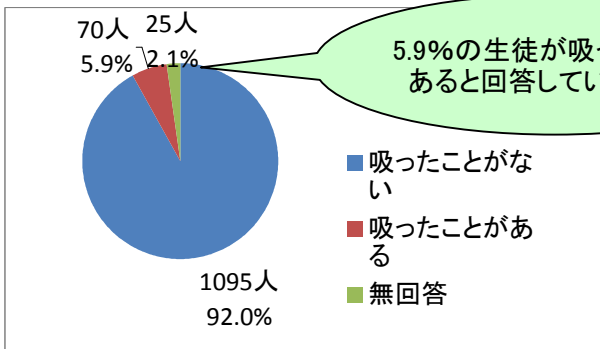
# たばこのアンケートの調査結果 についてお知らせします！



三好保健所では、未成年者がたばこを吸わない地域づくりのため平成22年10月にアンケートを実施しました。多くの生徒、保護者の皆様から御回答を頂きました。ありがとうございました。その結果がまとまりましたので、概要についてお知らせします。

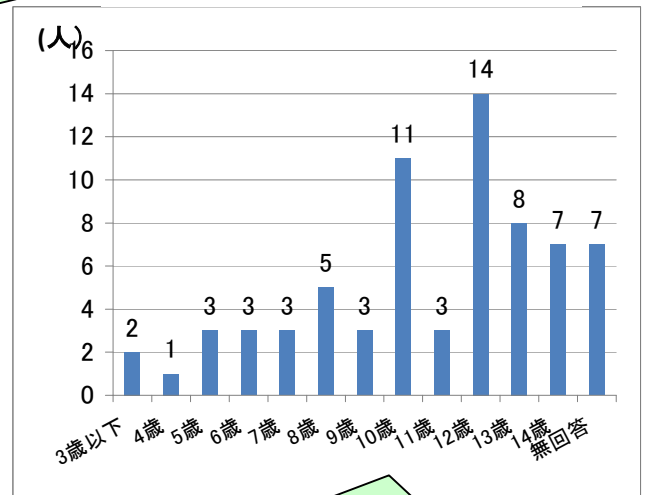
アンケートの概要	
回答数	
生徒	1,190名(回答率 92.6%)
保護者	1,127名(回答率 98.3%)

## ●たばこを吸ったことがありますか？



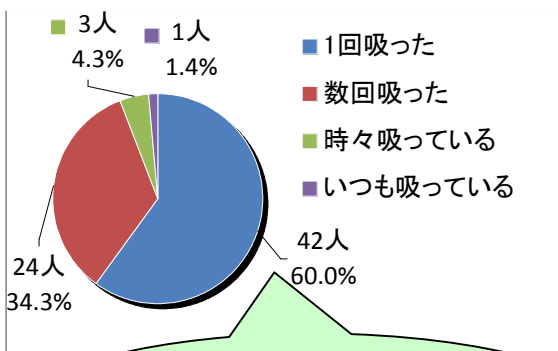
5.9%の生徒が吸ったことがあると回答していました。

## ●初めてたばこを吸った年齢



12歳が最も多く、次いで10歳、13歳、14歳の順でした。

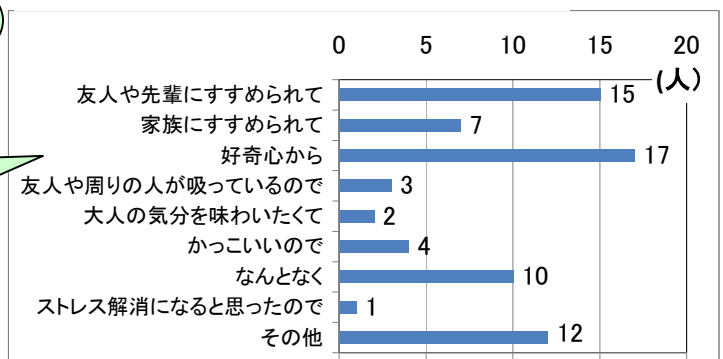
## ●何回くらいたばこを吸いましたか？



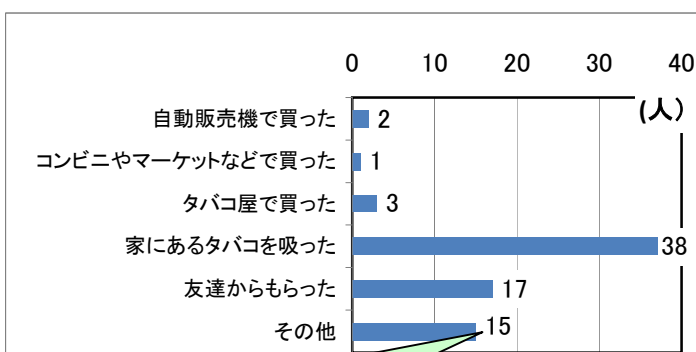
「1回吸った」が60%で最も多く、「数回」34.3%、「時々」、「いつも」を合わせると5.7%は習慣的に吸っていました。

「好奇心から」が最も多く、「友人や先輩にすすめられて」、「なんとなく」というきっかけが結果でした。

## ●たばこを吸ったきっかけは？

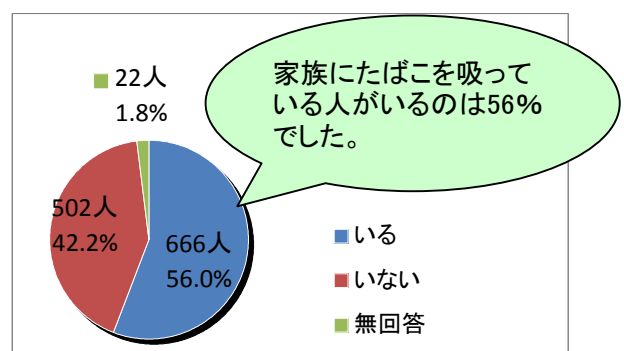


## ●たばこの入手方法は？



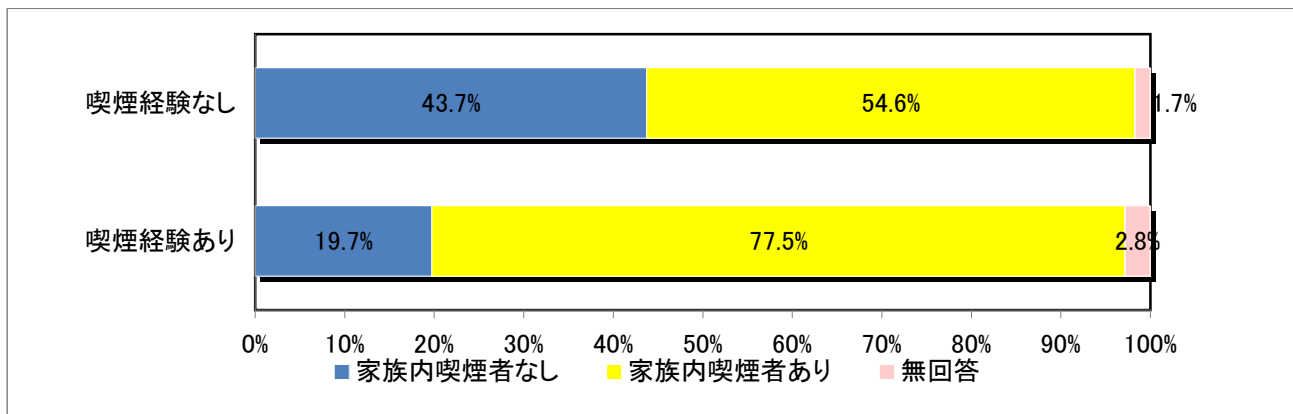
家にあるたばこが最も多い結果でした。

## ●家族にたばこを吸っている人はいますか？



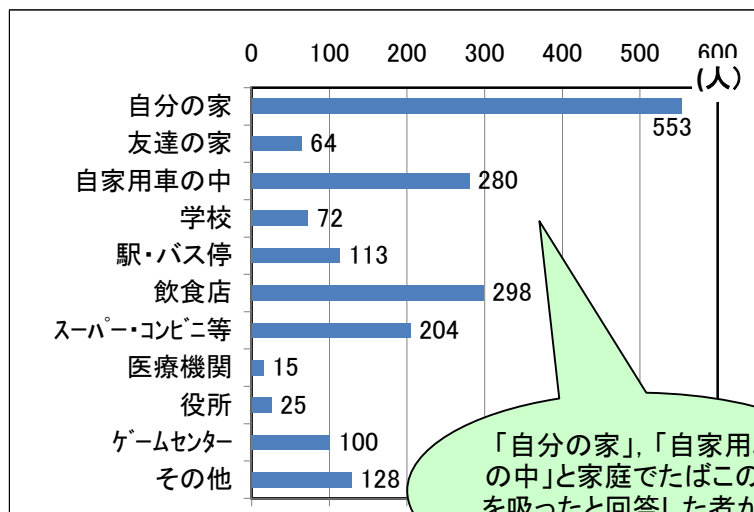
家族にたばこを吸っている人がいるのは56%でした。

## ●喫煙経験と家族内の喫煙者の有無について



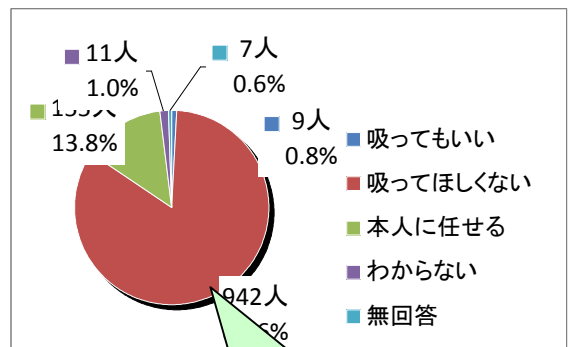
喫煙経験のある者の方が、家族内の喫煙者がいる割合が、喫煙経験のない者に比べて多い結果でした。

## ●この1ヶ月間でたばこの煙を吸った場所は？（複数回答）



「自分の家」、「自家用車の中」と家庭でたばこの煙を吸ったと回答した者が多い結果でした。

## ●自分の子どもがたばこを吸うことについて（保護者の意見）



「吸って欲しくない」と回答した保護者が約8割という結果でした。

## 今回の調査結果から

- 喫煙したことがあるのは5.9%で、年齢は「12歳」、「小6～中1」にかけて初めて吸った者が多い結果から、小学校から中学校かけて継続した「喫煙防止教育」が必要であることが確認できました。
- 初めて吸ったきっかけは、「好奇心」や、「友人や先輩からすすめられた」と回答している者が多い結果から、「最初の一歩を吸わない」教育と周りの人からすすめられても断ることのできる力の育成が必要であることが明確になりました。
- たばこの入手方法は「家にあったたばこ」と回答した者が多く、また、喫煙したことがある者に家庭内の喫煙者がいる割合が多いことから、家庭内ではたばこを子どもの手に届かないところに置くなど、子どもの周りには、たばこがない環境づくりが重要であると思われました。
- この1ヶ月間でたばこの煙を吸った場所としては、「自宅」や「自家用車の中」との回答が多いことから、家庭内での受動喫煙対策が必要であることが明確となりました。

以上のことから今後、小学校から中学校にかけての継続した、また、たばこをすすめられても断る力が身につくための「喫煙防止教育」の取り組みと家庭内では子どもの周りには、たばこたばこの煙にふれないような環境づくりが、未成年者がたばこを吸わない地域の推進の大きな鍵となることがわかりました。そのためには、子どもを取り巻く大人達が、受動喫煙を防止する環境づくりや喫煙者は禁煙を行うなど、次代を担う子ども達に健康できれいな空気をおくるための対策に取り組みたいものです。



徳島県西部総合県民局 三好保健所  
健康増進担当

TEL0883-72-1123